

2009年3月期 第2四半期累計期間 決算説明会



株式会社トムス・エンタテインメント
2008年11月6日

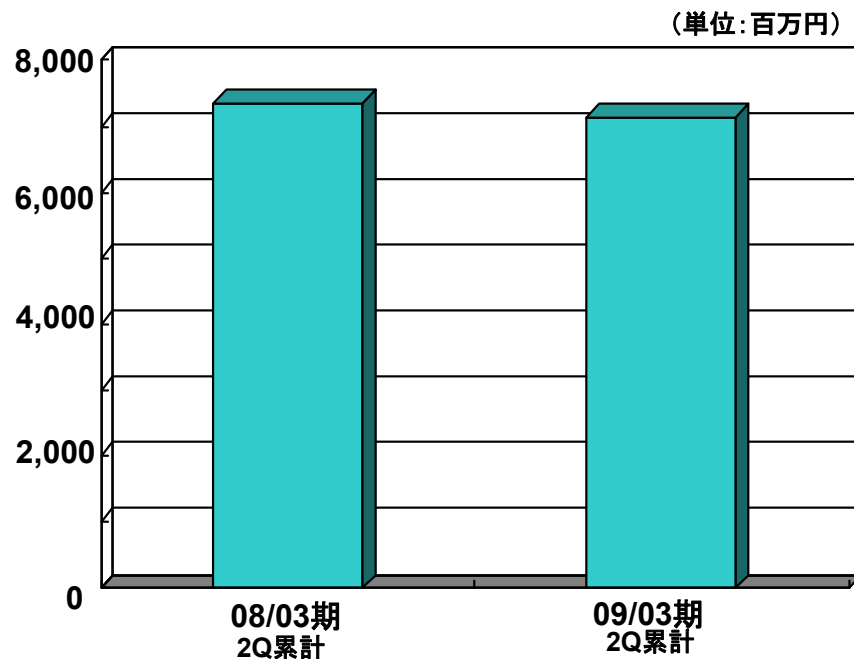
[免責事項]

本資料、及び本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、社会の諸情勢や市場動向等により大きく異なる結果となり得ることを、あらかじめご承知おきください。

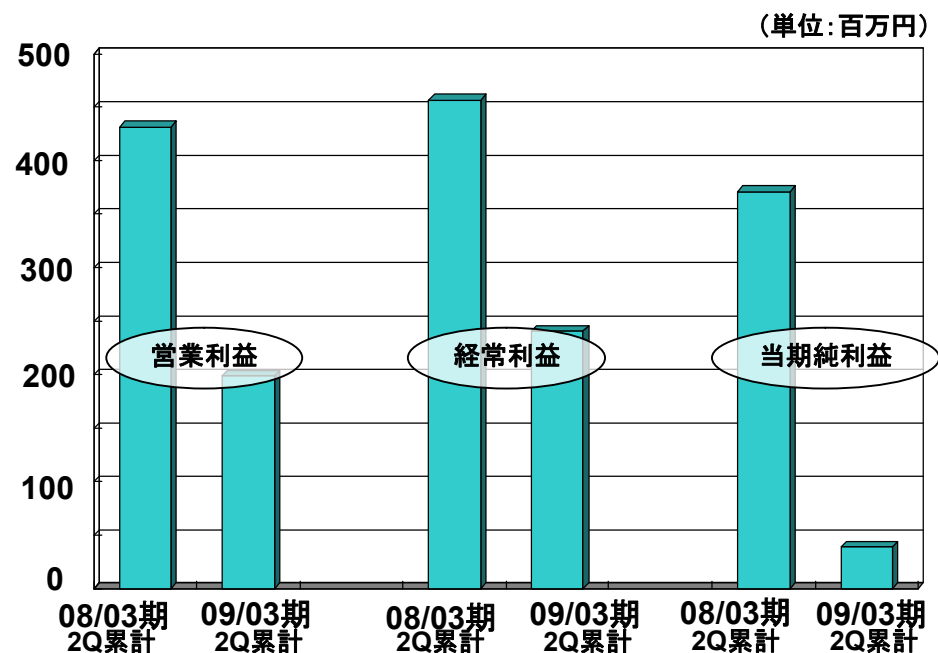
2009年3月期 第2四半期累計期間 実績

2009年3月期 第2四半期累計期間実績(連結)

〈売上高推移〉



〈利益推移〉

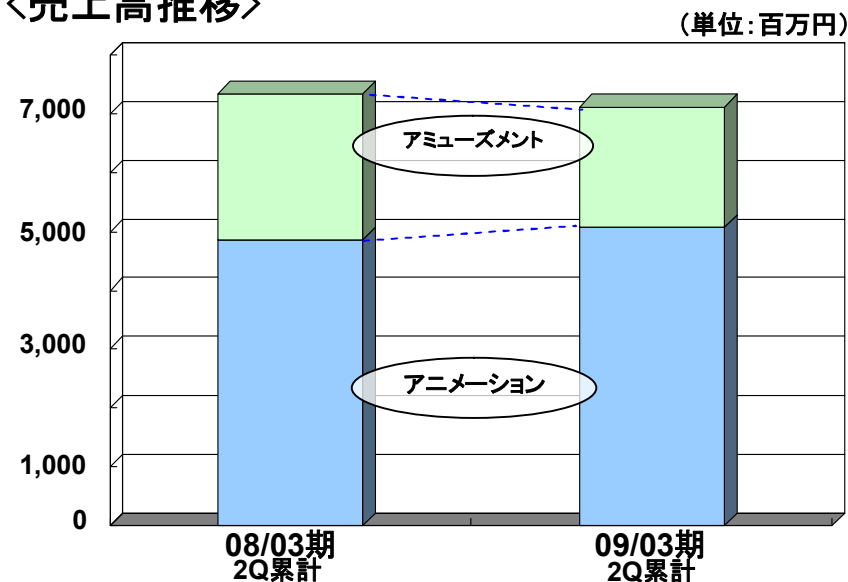


(単位:百万円)

売上高			営業利益			経常利益			当期純利益		
08/03期 2Q累計	09/03期 2Q累計	差異	08/03期 2Q累計	09/03期 2Q累計	差異	08/03期 2Q累計	09/03期 2Q累計	差異	08/03期 2Q累計	09/03期 2Q累計	差異
7,353	7,124	▲229 ▲3.1%	431	198	▲232 ▲54.0%	457	239	▲217 ▲47.6%	371	38	▲332 ▲89.5%

セグメント別実績

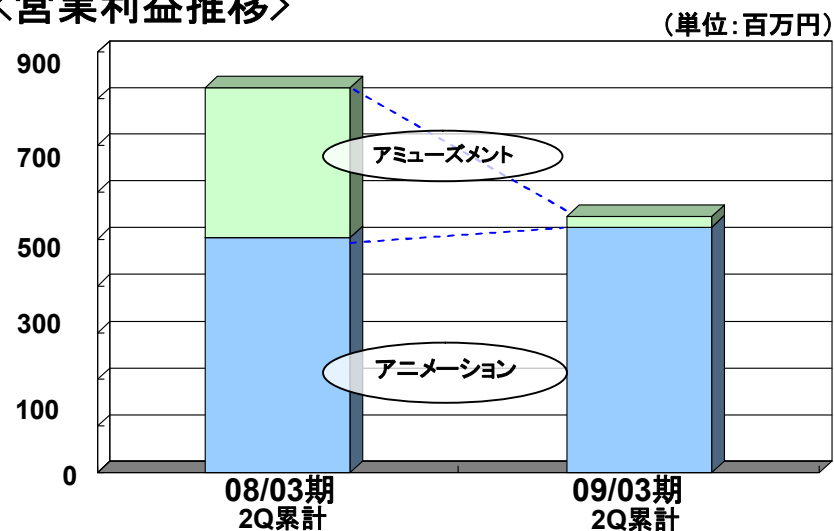
〈売上高推移〉



(単位:百万円)

	08/03期 2Q累計 売上高	09/03期 2Q累計 売上高	差異
アニメーション	4,855	5,063	+ 208 + 4.3%
アミューズメント	2,498	2,061	▲ 437 ▲ 17.5%
計	7,353	7,124	▲ 229

〈営業利益推移〉



(単位:百万円)

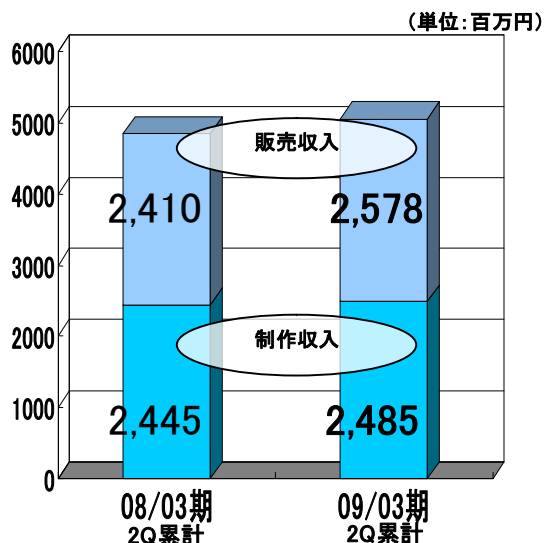
	08/03期 2Q累計		09/03期 2Q累計		営業利益 差異
	営業 利益	営業 利益率	営業 利益	営業 利益率	
アニメーション	504	10.4%	526	10.4%	+ 22 + 4.4%
アミューズメント	319	12.8%	22	1.1%	▲ 297 ▲ 93.1%
計	823	11.2%	548	7.7%	▲ 275

※営業利益は本社費配賦前

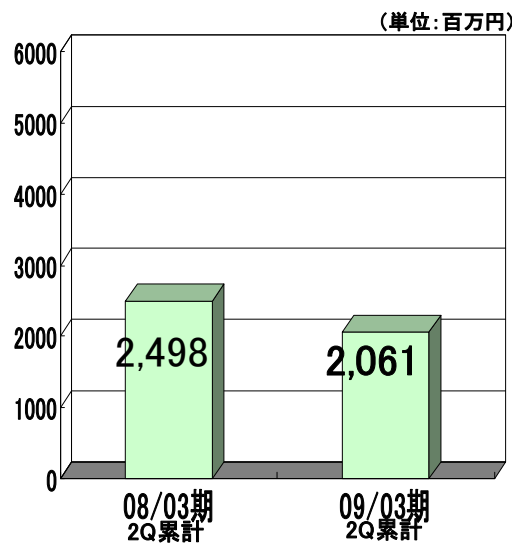
売上高・利益分析(対前年比)

■売上高の対前年比

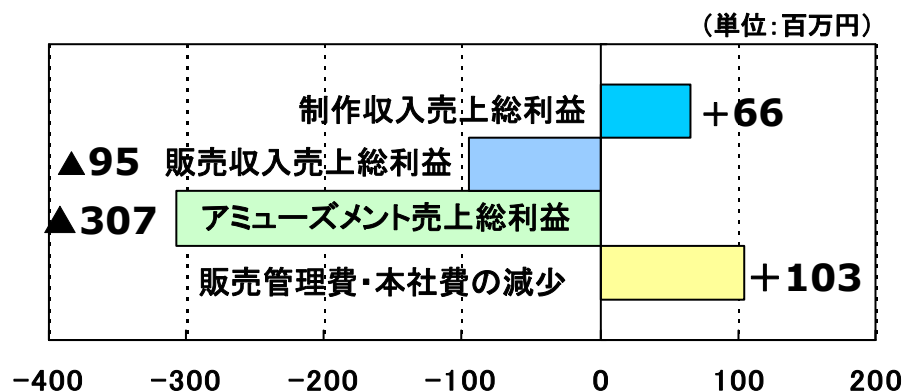
アニメーション事業



アミューズメント事業



■営業利益の対前年比増減



売上高の対前年比増減要因

□ アニメーション 対前年比

- ・制作収入は +40百万円 +1.7%
TVシリーズ収入やコンテンツ制作収入が減少したが劇場映画制作本数が増加し全体で前年と同等に
- ・販売収入は +167百万円 +7.0%
国内ビデオ販売が大幅に減少したが、海外販売、商品化権販売、ネットワーク向け販売等により増加

□ アミューズメント 対前年比

- ・売上高は ▲437百万円 ▲17.5%
前期3店舗の閉鎖の影響、消費の冷え込みによる施設市場全体の落ち込みが影響し減少

営業利益の対前年比増減要因

□ アニメーション 対前年比

- ・制作収入の売上総利益は +66百万円
TVシリーズ利益率向上と劇場映画本数の増加により増益
- ・販売収入の売上総利益は ▲95百万円
国内番組販売、映画・音楽収入等が増益となったもののビデオ販売の大幅減益、製品償却負担増のため減益

□ アミューズメント 対前年比

- ・売上総利益は▲307百万円
市場の全体的な売上不振の影響を受け大幅減益

□ 販売費・管理費の減少 対前年比

- ・+103百万円
前期はアニメーション事業で貸倒引当金を計上、本社費の削減

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部			
	09/03 第2四半期	08/03 会計年度末	差異
現金及び預金	4,487	5,222	-735
受取手形及び売掛金	2,051	2,444	-392
有価証券	997	1,995	-998
その他	3,055	2,922	133
流動資産合計	10,591	12,585	-1,993
有形固定資産	3,784	3,217	566
無形固定資産	217	206	10
その他	3,587	2,950	636
固定資産合計	7,588	6,375	1,212
資産合計	18,180	18,960	-780

負債・純資産の部			
	09/03 第2四半期	08/03 会計年度末	差異
支払手形及び買掛金	1,654	2,241	-587
未払法人税等	54	426	-371
その他	888	813	75
流動負債合計	2,598	3,481	-883
固定負債合計	808	470	337
負債合計	3,406	3,952	-545
株主資本合計	14,687	15,056	-368
評価・換算差額等合計	14	-109	124
新株予約権	71	62	9
純資産合計	14,774	15,008	-234
負債純資産合計	18,180	18,960	-780

□ 主な増減要因:

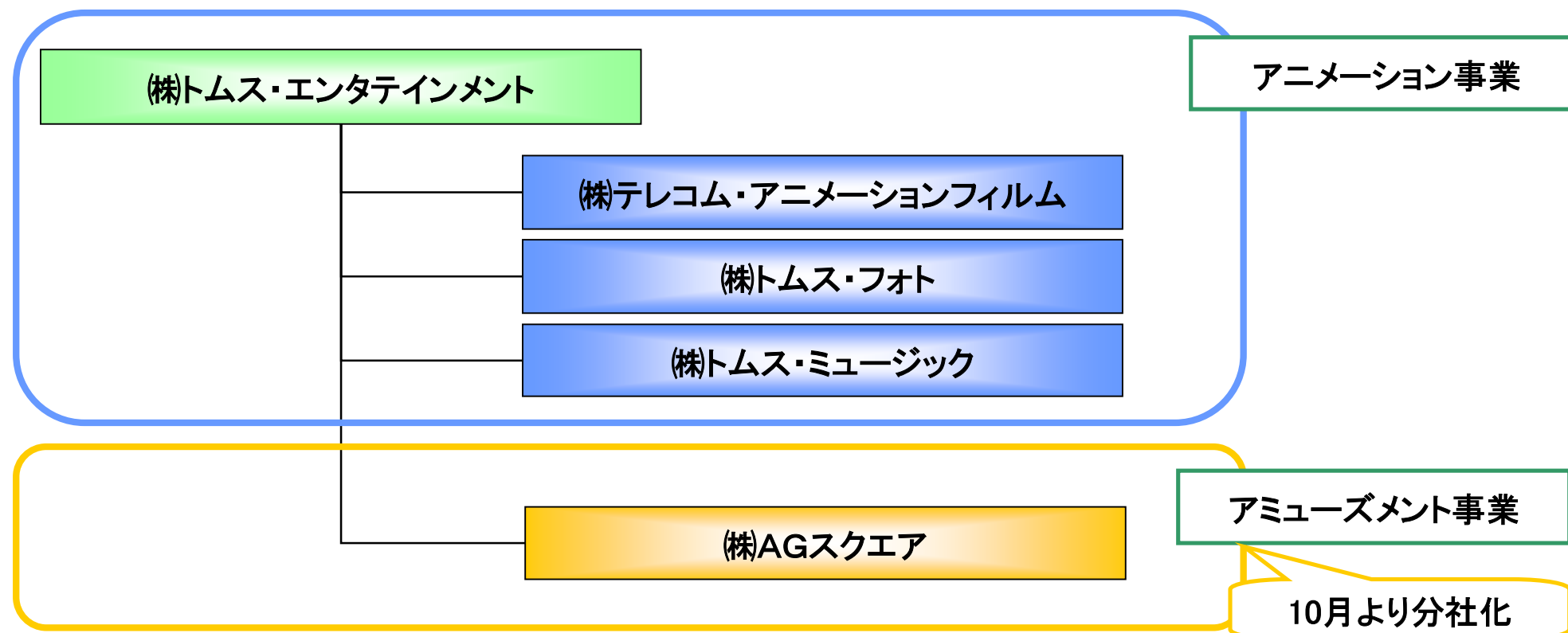
- ・現金及び預金: 債券への運用等による減少
及び法人税、配当金支払い等による減少
- ・有価証券: 社債等の満期償還による減少
- ・有形固定資産: ボウリング場等への投資による増加
- ・その他(固定資産): 債券での運用による増加

□ 主な増減要因:

- ・未払法人税等: 法人税支払いによる減少
- ・株主資本合計: 自己株式買付、
配当金支払いによる減少

2009年3月期 通期見通し

2008年10月以降の新体制



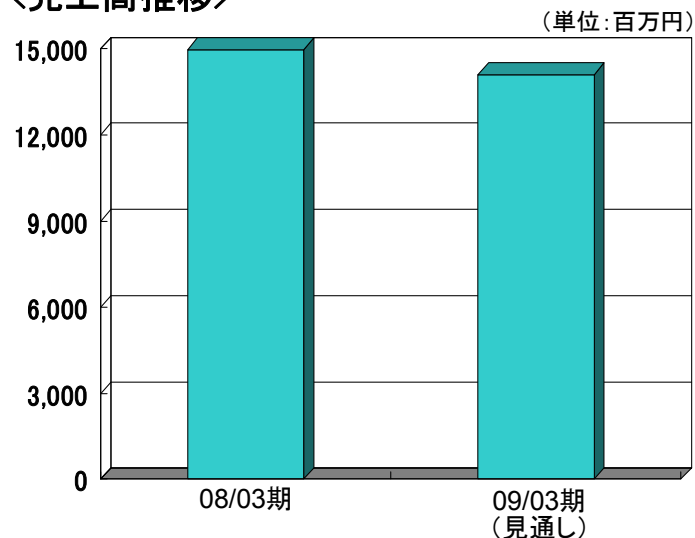
～アミューズメント事業の分社化について～

平成20年10月1日、株式会社ゲオへの事業譲渡契約が解消
アミューズメント事業を分社化し、事業を引き続き運営

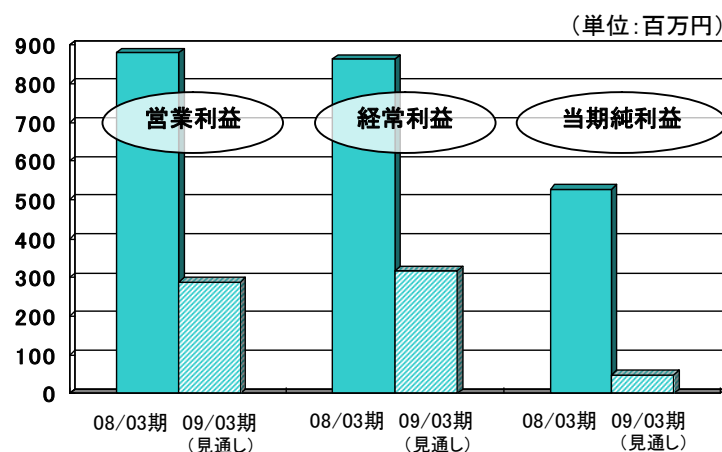
2009年3月期 通期見通し(連結)

(単位:百万円)

<売上高推移>



<利益推移>



	08/03期	09/03期	
		見通し	前期比
売上高	14,970	14,110	▲860 ▲5.7%
アニメーション	10,260	9,970	▲290 ▲2.8%
アミューズメント	4,709	4,140	▲569 ▲12.1%
営業利益	880	280	▲600 ▲68.2%
経常利益	862	310	▲552 ▲64.0%
当期純利益	528	40	▲488 ▲92.4%

アニメーション及びアミューズメント事業において、利益を取れる体質へと収益構造の改善に取り組み、成長に向けた施策を着実に実行することが当期の課題

2009年3月期・通期見通し ～アニメーション事業～

アニメーション事業：通期見通し

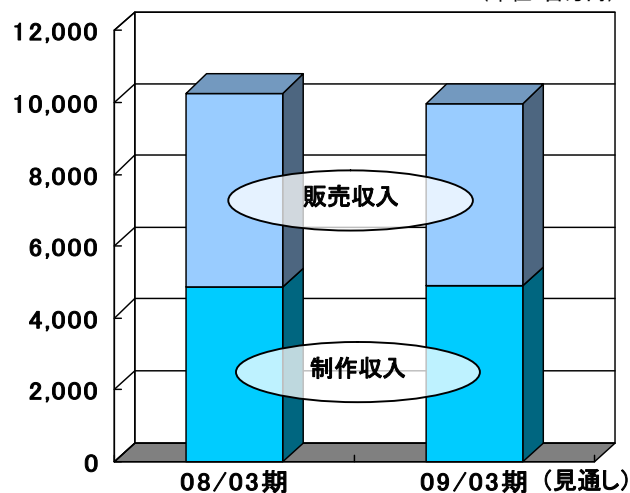
(単位:百万円)

	08/03期		09/03期 (見通し)	
		前期比		前期比
売上高	10,260	▲4.8%	9,970	▲2.8%
営業利益	1,122	▲40.9%	950	▲15.3%

※上記営業利益は本社費配賦前

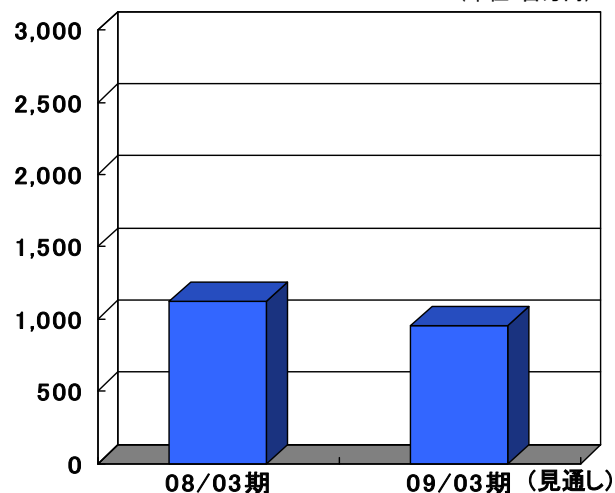
＜売上高推移＞

(単位:百万円)



＜営業利益推移＞

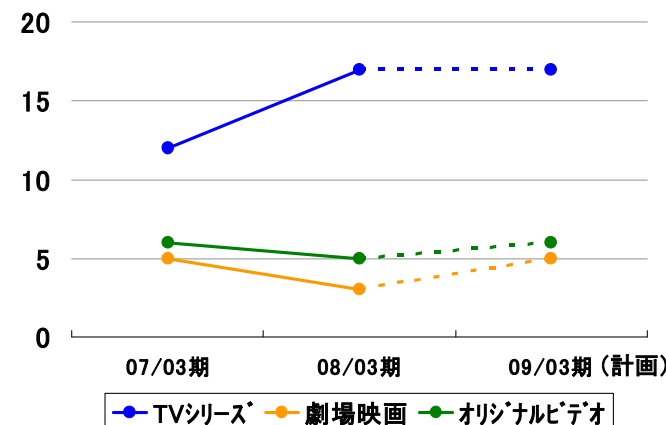
(単位:百万円)



※上記営業利益は本社費配賦前

■制作本数■

(単位:本)



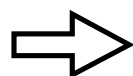
番組販売、ビデオ販売の落ち込み等の影響を受け、減収減益の見通しであるが、企画の厳選、新規事業の育成、ネット事業の強化などを通じ、次期の収益拡大につながる施策を展開

アニメーション事業：企画・制作部門・販売部門の展開

企画・制作部門の方針

企画・制作の強化

- 企画立案を強化し、ビジネススキームを最適化
- 市場調査による作品ポテンシャルの検証
- 企画・制作から2次展開まで一貫して推進



厳選によりヒットの確率の向上を狙う

『ライブオン CARDLIVER翔』

10月5日(日)朝10時30分より、
テレビ東京をキー局として、
テレビアニメーション・シリーズ
『ライブオン CARDLIVER翔』
の放送がスタート

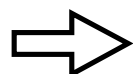


©ポブラ社/カードライダー翔製作委員会・テレビ東京

販売部門の方針

販売事業領域の拡大

- 商品企画まで踏み込んだ事業展開
- ネットワーク分野での事業領域の拡大
- 成長過程にあるBD市場へのライセンス拡大



収益の多角化を狙う

「ルパン三世」アトラクション

東京ドームシティに、
「ルパン三世」をテーマにした
ウォークスルー型アトラクション
「ルパン三世～迷宮の罠～」が
来春オープン



ルパン三世
迷宮の罠

©モンキー・パンチ/TMS・NTV

アニメーション事業：ネット事業・海外事業の展開

ネット事業の展開

ネット事業の拡大

販売事業において、ネット事業は順調に成長しており、引き続き拡大を図る

「ルパン三世」コンテンツ配信

携帯及びパソコンへ、「ルパン三世」の映像や音楽等様々なコンテンツを配信中。



©モンキー・パンチ/TMS・NTV

アンパンマンデジタルLLP

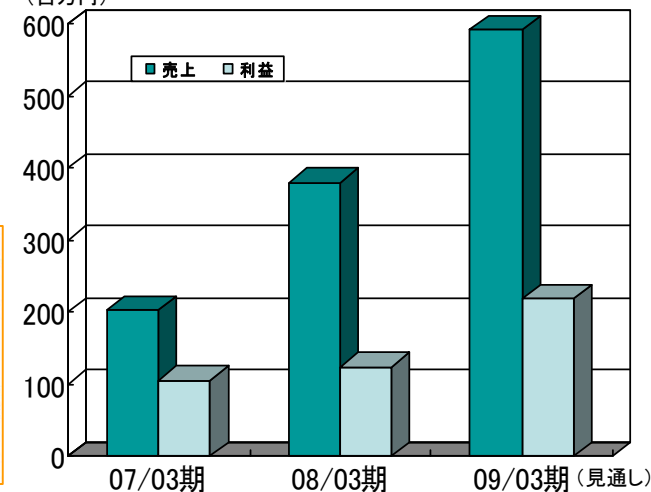
「それいけ！アンパンマン」の関連コンテンツをネットワーク上で積極的に展開。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV ©アンパンマンデジタルLLP

■ ネット事業売上高/利益推移 ■

(百万円)



海外事業の展開

海外向け開発力強化

- ビジネスプロデューサーの採用
- 海外の強力パートナーとのリレーション強化
- 海外向け作品の開発・展開



北米、欧州への展開拡大

「爆丸」が海外にて好調

アメリカ、カナダ、韓国他アジア各国において、玩具とともに高い評価を得ており、シリーズ第二弾の製作が決定しました。2009年春から北米にて放送スタートの予定です。



©SEGA TOYS / SPIN MASTER / BAKUGAN PROJECT・テレビ東京・電通

2009年3月期・通期見通し ～アミューズメント事業～

アミューズメント事業：通期見通し

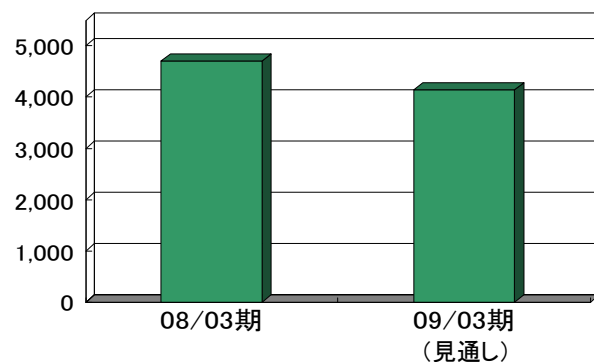
(単位：百万円)

	08/03期		09/03期(見通し)	
		前期比		前期比
売上高	4,709	▲2.1%	4,140	▲12.0%
営業利益	481	+9.5%	70	▲85.4%

※上記営業利益は本社費配賦前

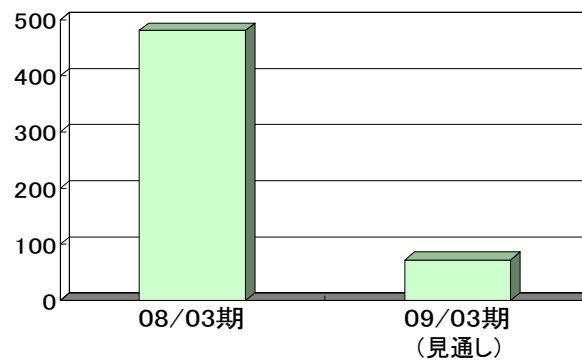
＜売上高推移＞

(単位：百万円)



＜営業利益推移＞

(単位：百万円)



※上記営業利益は本社費配賦前

■アミューズメント店舗数■

	08/03期	09/03期 (当初計画)
期初 店舗数	26	24
新規開設店舗	1	1
閉鎖店舗	3	0
期末 店舗数	24	25

不採算店舗の閉鎖、個別店舗の集客力向上、低コストでの新規店舗調達等を通じ、次期以降の改善に向けて、基盤強化を図る。

アミューズメント事業：事業の展開

アミューズメント事業の方針

不採算店舗の閉鎖

- スクラップ&ビルドによる収益性の向上

既存店舗の競争力強化

- 店舗リニューアル
- アミューズメント機器への投資

運営力強化

- 店舗業績に応じたインセンティブ制度の導入
- 運営ノウハウの共有の促進
- スタッフ教育の促進

開発力の強化

- 好立地の獲得
- 低コストでの店舗開発

収益基盤
の強化